

道

2022・3・16

通信 No 1674



ピンクパンサー

企画選曲委員会 本日3時～5時開催いたします。

県民サポートセンター 711号室

【合唱団「道」の皆様へ】

このところの暖かい陽気に春の花が、一気に咲き始めました。

花を見ながらウクライナの侵略戦争が続いている現実を思う日々が続いています。

まさかこのような状況になるなんて思いませんでした。毎日ニュースを見る度心が痛いです。

ロシア民謡もウクライナ民謡も大切に歌ってきた私達の心の痛みは深く悲しいものです。

暮れに歌った「道」のブーリャンは、ウクライナの風景に重なると、かつて故北川先生とご同行された古いメンバーの方々は、車窓から見られたそうです。

私事ですがソビエトが崩壊して少し落ち着いた頃、ご指導頂いたタチアナ先生は、モスクワ在住のキエフ出身のウクライナ人でした。（先生は2年前に急逝されましたが、）美しいキエフの街の話をお会いする度に聞かせて下さりました。

戦争を知らない私は、ウクライナの出来事は21世紀では信じがたく受け止められず、涙して時も止まったようでした。

3月2日の「道」の抗議文と岡田さん、9日の中山先生のメッセージを拝読し、ようやく前向きになることができました。最近では停戦と平和を祈りながら子供たちと折り紙の『鶴』を折っています。

募金活動？街角ピアノでウクライナの歌も伴奏したいなあ？等、頭に浮かんでは何か出来ることはないか、ぐるぐる自問自答の毎日です。

『鶴』を折りながら早く皆さんに会いたい!!と思いました。皆さんの顔が浮かんできます。幸いコロナも減少傾向で 🎵🎵今度こそは、練習再開できそうですね 🎵🎵

中山先生のご提案のウクライナの曲に加えて・今とてもキエフの鳥の歌・シチェードリクを歌ってみたいです。シチェードリクは、シンプルながら美しくでも難しくて清水先生のご指導で再挑戦してみたいと、先生が就任されてから、ひそかな私の楽しみになっています。

ロシアの歌はどうだろうか??と自分に問いかけてみました。今はロシアを賛美する歌は、歌えない気持ちです。皆さんとこれから話し合っていく必要があるかと思えます。

心に浮かんだのは、タベの鐘です。一昨年練習を始めて、なかなか進まず途切れてしまいました。が、また歌いたい曲の一つです。

合唱団「道」だからこそ、私達は深く苦しみますね。一人では答えができません。皆さんと意見を出し合い、光を求めて心ひとつに歩いていきましょう。

コロナもまだあり、皆さん元気に乗り越え、笑顔で集いましょう。

小坂 幸世